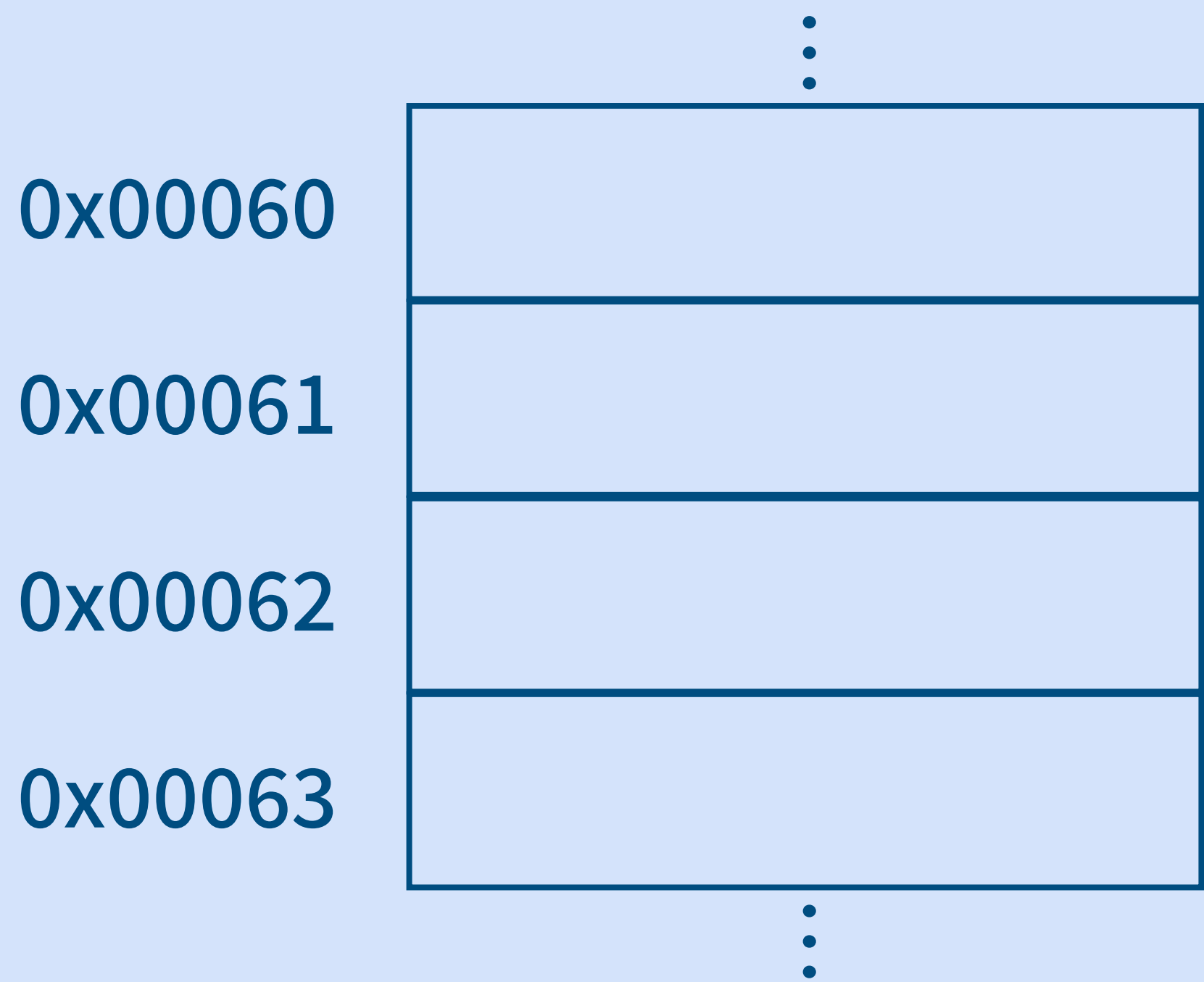


変数

データ型 による違い

データ型によって違いが出る理由は、そのデータ型がメモリをどれだけ使うかによります。



正確に「変数」を説明すると、
値を記憶するメモリに名前をつけたもの
になります。

コンピュータでは左の図のようにメモリが並んでいます。
メモリの番地を指定すればその番地の中に入っている情報を読み取ることができますが、長い数値を扱ったりするので、扱いにくいですね。

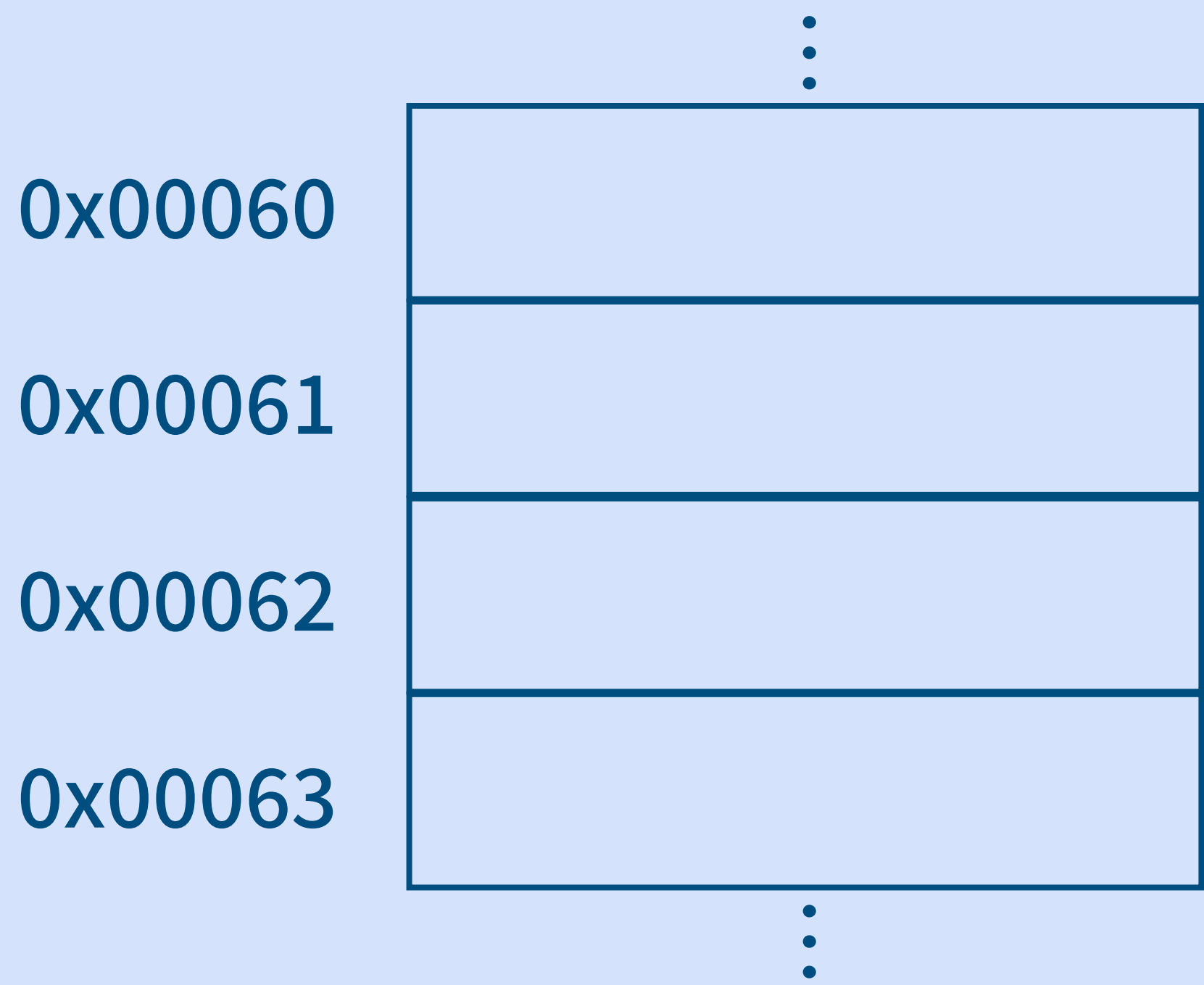
0x00060番地に number という名前をつけよう！



変数

データ型 による違い

データ型によって違いが出る理由は、そのデータ型がメモリをどれだけ使うかによります。



そこでそれぞれの番地に名前をつけてしまおうというのが変数の考え方です。

変数を宣言すると、パソコンのメモリ上に場所が確保されて、情報を保管しておくことができるようになるわけです。